

令和元年度 山形のみちづくり評議会（第1回） 議事要旨

1. 日時

令和元年 11月 28日（木） 14:00～16:15

2. 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員、津藤委員、宮原委員、小山委員、皆川委員、
竹下委員（代）石井委員、角湯委員 9名

3. 議事

議題1 平成30年度道路事業の達成度報告

議題2 山形県道路中期計画2028の取り組み

4. 議事概要

議題1 平成30年度道路事業の達成度報告

- ・事務局より各施策の取組状況、各指標の達成状況（平成30年度末の実績）を説明した。
- ・「概ね達成」や「未達成」と評価した指標において、評価理由等を説明し了承を得た。

議題2 山形県道路中期計画2028の取り組み

- ・事務局から、昨今の道路に関する取り組みとして、以下の5項目の説明を行った。
 - 1) 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の取り組み
 - 2) 重要物流道路の指定
 - 3) 高規格道路の整備に向けた取り組み
 - 4) 山形県無電柱化推進計画
 - 5) 山形県自転車活用推進計画

5. 山形のみちづくり評議会(第1回)における主な意見

議題1 平成30年度道路事業の達成度報告

- ・孤立集落への対策を考え、防災対策個所の進捗について、概ね達成としているが、昨今の集中豪雨による土砂災害対策や、大雪に伴う雪崩対策、川の増水により橋梁が流されないかなど、新たな視点でとらえていく必要があるのではないか。
- ・大雨などによって、これまで大丈夫だったものが脆弱なっている可能性もある。法面や橋梁の状況など、綿密に確認を行ってほしい。

議題2 山形県道路中期計画2028の取り組み

1) 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策の取り組み

- ・道路中期計画策定し、10年間で整備する箇所を選定していることから、3か年対策も計画的に実施できていると思われる。

2) 重要物流道路の指定

- ・R347が代替補完路として指定されている。冬期間も使えるようになり、銀山温泉に冬に来るお客が劇的に増えるなど効果が現れており、横軸の強化につながっていると思われる。事業効果を見据えた要望をしていくべき。
- ・観光道路も含め、他県と連絡する道路を密にするべき。

3) 高規格道路の整備に向けた取り組み

- ・ SICについては、地元の理解を得ながら、安全対策をしてほしい。

4) 山形県無電柱化推進計画

- ・ 防災対策という観点からも無電柱化の優先順位を決めてほしい。
- ・ 軒下配線、裏配線など地域に合った方法で推進してほしい。
- ・ 流雪溝工事など、ほかの工事と一緒に無電柱化するなど、工夫しながら進めてほしい。
- ・ 道路はイベント空間としての役割もあるので無電柱化を推進してほしい。

5) 山形県自転車活用推進計画

- ・ 高齢者にとって電動自転車が便利になった。まだまだ自転車の走行空間は整備されているといえない。安全・安心に走れるよう、整備を進めてほしい。
- ・ 県全体の長期的な自転車ネットワーク構想が必要。
- ・ 自転車ネットワークの整備に際しては、地域の資源との連携が必要。
- ・ サイクリングロードは街の中に人を呼びこむツールになり得る。
- ・ 冬期間は堆雪幅として活用するなど工夫した自転車整備をしてほしい。

以上